

解答

一

- 問一 A ウ B イ
問二 イ、エ
問三 省略
問四 風車一基でつくりだせる発電量がとても小さい点。
問五 デンマーク／4242.4から4220の間
問六 自然エネルギーと呼ばれる風や太陽光を使う地球にやさしい発電方法がよい。問題を改善し、研究をすすめていくことで、安心な未来になると考える。

二

- 問一 イ
問二 おばさん
問三 わたしのことを心配していないという思い。
問四 何度もふり返りながらため息をついた。
のろのろ家へ向かう一本道を歩いていった。
心配させてごめんなさい。／疑ってごめんなさい。／許してくれてよかった。
問六 目／表現技法：回想
問七 おばさんが、わたしのことを心配する気持ちを疑って、飛びだしたけれど、今は本気で心配していたからよかったことがわかる。ごめんなさい。

三

- 問一 (1) 主語：イ、述語：ウ、単語：5
(2) 主語：なし、述語：ウ、単語：5
(3) 主語：イ、述語：エ、単語：7
問二 (1) 肝 (2) 虫
問三 (1) 間違い：申され(て)、正解：おっしゃっ(て)
(2) 間違い：見る、正解：ご覧になる
問四 (1) ア (2) 模倣 (3) 調 (4) 円熟 (5) 誇張 (6) 異議
問五 (1) 緩 (2) 模倣 (3) 調 (4) 円熟 (5) 誇張 (6) 異議

解説

一

- 問二 第七段落に着目します。風や太陽の光はエネルギーとして、永久に使いつづけることができ、温室効果ガスも出さないので、自然エネルギーと呼ばれていることから、選択肢イ、エが選べます。
問四 後半にある「風力発電は、なんといっても」→「どうすればいいのでしょうか。」の部分に問題点があげられています。風車一基でつくりだせる発電量がとても小さいことについて、ぬけていることがわかるので、それについて答えます。

二

- 問一 —線部①の前から私の気持ちを読み取れます。しかられるのを覚悟して緊張し、身構えていたにもかかわらず、海のおじさんは、意外にも、突然笑いだしたことから、選択肢イが選べます。
問四 —線部④の後にある家に帰る場面に着目します。海のおじさんはみんなにあいさつしてからもどるので、美月はなんと言って海のおばさんに話しかけようと思っています。「何度もふり返りながらため息をついた」り、「のろのろ家へ向かう一本道を歩いていった」りする様子から、美月が戸惑っていることがわかります。